

平成12年度

成人歯科保健実態調査報告

群馬県

第1章 調査の概要

1 目的

本県における成人歯科保健の現状を把握し、今後の歯科保健対策をよりの確に推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査期間

平成12年9月～平成13年3月

3 調査対象

群馬県内に在住する35歳から84歳を対象とし、層化無作為抽出法により抽出した2,032人に対して本調査への協力を依頼した。

4 歯科健診受診者

調査対象者から517人の調査協力者のうち協力歯科医院で歯科健診を受診したのは男性161人、女性158人、計319人であった。

被調査者一覧

年齢階級	男		女		総数		
	協力者数	受診者数	協力者数	受診者数	対象数	協力者数	受診者数
35-44	42	20	48	28		90	48
45-54	48	30	51	30		99	60
55-64	64	32	51	45		115	77
65-74	62	43	52	29		114	72
75-84	54	36	45	26		99	62
総数	270	161	247	158	2,032	517	319

5 調査項目

主な調査項目は次のとおり

- (1) 歯牙の状況
- (2) 喪失歯の状況及び補綴状況
- (3) 歯肉の状況
- (4) 歯口清掃状況
- (5) 歯磨きの実施状況
- (6) その他、歯科保健に関する問診項目

3

第2章 調査結果の概要

1 歯科健診の結果

(1) むし歯の状況 (DMF 者率)

むし歯保有者率 (DMF 者率) は総数で 99.3%であった。年齢階級別にみると 35-44、55-64、65-74 歳の年齢階級においては 100%だった。

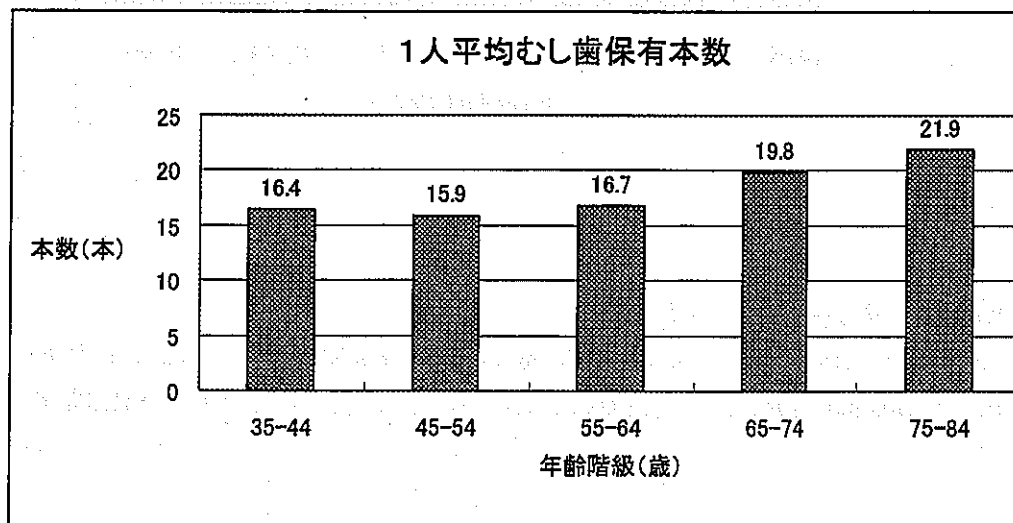
むし歯の状況 (DMF 者率)		(単位%)				
	総数	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84
群馬県	99.3	100	98.3	100	100	98.4

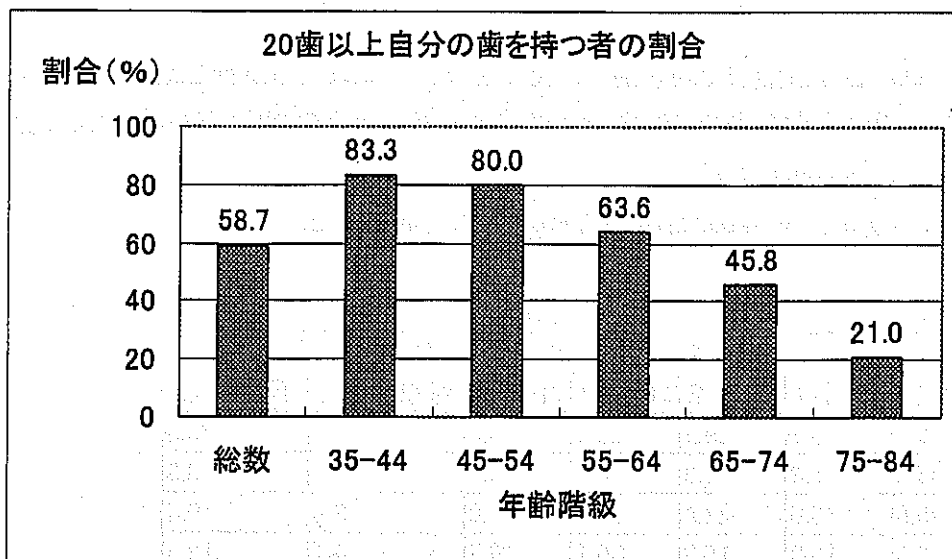
(2) 1人平均むし歯数 (DMF 歯数)

1人平均むし歯数は、総数で 18.63 本で、内訳は未処置歯 1.4 本、処置歯 10.14 本、喪失歯 7.09 本であった。年齢階級が上がるにしたがい増加している。

一人平均むし歯保有本数

	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84
群馬県(H12)	16.4	15.9	16.7	19.8	21.9





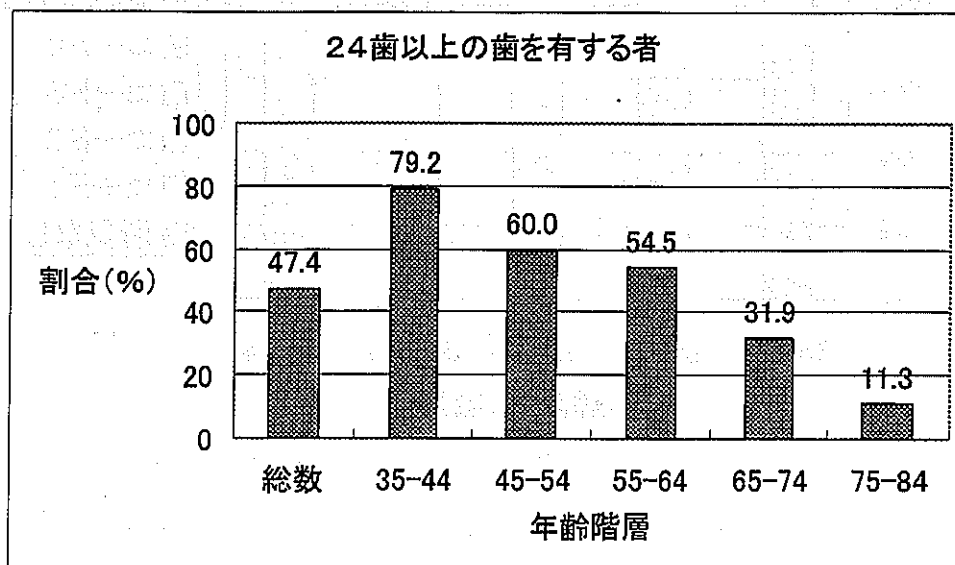
(5) 現在歯を 24 歯以上持つ者

80 歳で 20 本以上の歯を保つ「8020 運動」の中間目標として、60 歳で 24 本以上保つという目標がある。

今回の調査で 24 歯以上持つ者は 60 歳で 54.5%であった。40 歳の 79.2%から年齢階級が上がるにつれてその割合は減少している。

24歯以上の歯を有する者

	総数	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84
群馬県	47.4	79.2	60.0	54.5	31.9	11.3

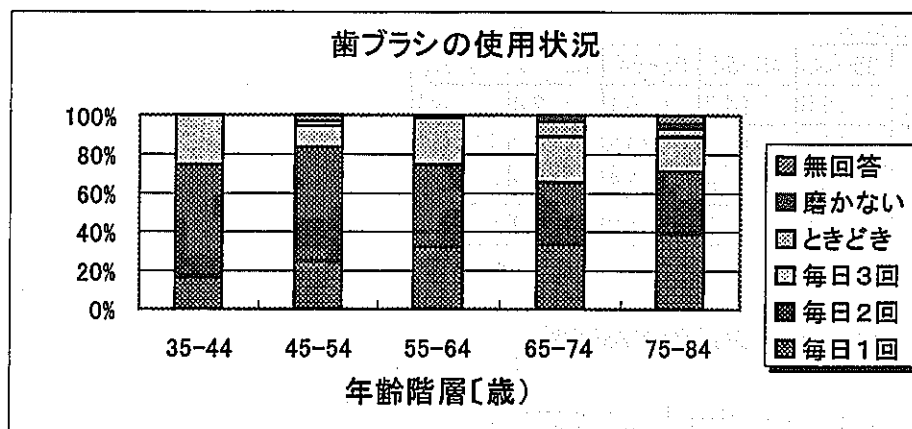


2 歯科保健アンケート結果

(1) 歯ブラシの使用状況

35-44、45-55歳の年齢階層では歯を磨かない者の割合は0%、毎日2回磨く者の割合は58.3%と高く、毎日歯を磨く者の割合は総数で94.4%であった。

	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84
毎日1回	16.7	25.0	32.5	33.3	38.7
毎日2回	58.3	58.3	41.6	31.9	32.3
毎日3回	25.0	11.7	24.7	23.6	17.7
ときどき	0	1.7	0	8.3	4.8
磨かない	0	0	1.3	2.8	1.6
無回答	0	3.3	0	0	4.8



(2) 歯磨き剤の使用状況

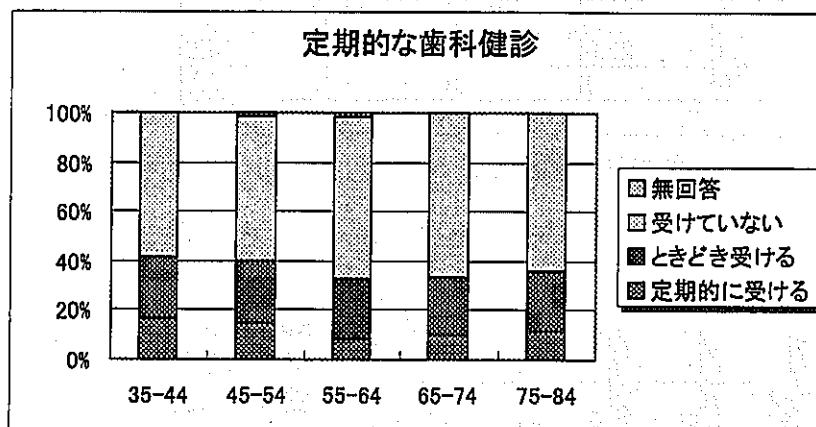
歯磨き剤の使用状況は、35-44、55-64歳で90%を超えていた。75-84歳で75.8%で若干少なかった。

	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84
使用している	95.8	86.7	94.8	83.3	75.8
使用していない	2.1	10.0	5.2	15.3	22.6
無回答	2.1	3.3	0	1.4	1.6

歯科健診

(単位%)

	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84
定期的に受ける	16.6	15.0	7.8	9.7	11.3
ときどき受ける	25.0	25.0	24.6	23.6	24.2
受けていない	58.3	58.3	66.2	66.6	64.5
無回答	0	1.7	1.3	0	0



(4) 歯石除去や歯面清掃を定期的に受けている者の割合

定期的に受けている者の割合は、55-64歳の年齢階級から減少している。

ときどき受けると回答した者は、55-64歳で多かった。歯科医師や歯科衛生士による専門的なケアを受けていないと回答した者の割合が全年齢階級で半数を超えていた。

歯石除去や歯面清掃

(単位%)

	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84
定期的に受ける	14.6	18.3	7.8	8.3	9.7
ときどき受ける	29.1	26.6	37.6	23.6	25.8
受けていない	56.3	55.0	54.5	68.1	59.7
無回答	0	0	0	0	4.8

